

山本先生, 徳永さんへ
自動吸引器について

実験日にはお忙しい, 所患者さんの為に遅くまで実験して頂き, ありがとうございます。実験の日には前の日の夜良く寝ていたのに, 殆ど朝まで眠られずに起きていたので夜中のことは, ハッキリと覚えています。

*実験が始まってからは, 調整をする間は, こちらからは良く見えなかったが吸引する音だと思います。吸引の音がすると息苦しさを感ず, 調整が長く感じ其の後どうなるのか, 心配でした。

*調整が終わると後は楽になりました。朝までに大きな痰が4回出ましたが時間は20秒ぐらい掛りましたが, 4回とも綺麗に取れました。其の間は小さな音の痰でも見逃さないで朝まで15回ぐらいは取ったと思います。

*朝までは殆ど痰が出ても苦しさを感ず無かった事と, 誰の手も借りずに自動吸引器が全部取ってくれたことで感激して目頭に熱いものを感じました。

呼吸器を付けた患者さんにとって一番苦しいのが痰の出ないことだと思います。吸引器が開発され長く生きられ, 在宅療養が出来るようになって今では, 一番の問題は痰の出ないことで殆どの患者さんが悩んでいるのでは無いのでしょうか。私は夜になると, 2回から3回, 痰が粘っこいときは一回に5回ぐらい取らないと取れません, それでも取れないときは右に大きく体交して背中を叩いて貰います。それでも出ないことがあります。痰が出ないで朝まで起きないで休むことは月に一回か2回かぐらいしかありません, 後は殆ど家内に取って貰います。これから医療器具が開発され, 高齢化が進み今以上に高齢者の在宅が多くなるのではないのでしょうか, 誰もが一番先に考える深刻な問題は吸引器だと思います。患者さん誰もが夢に描き続けた夢が夢で無くなり山本先生, 徳永さんの研究に寄って完成に近い所まで来ています。吸引器が患者さんに使用される時が来れば殆どの患者さん達が自動吸引器を使い乍介護者と一緒にぐっすり朝まで眠られる日は, 直ぐ目の前に来ています。どうか一日も早い完成を祈っています。